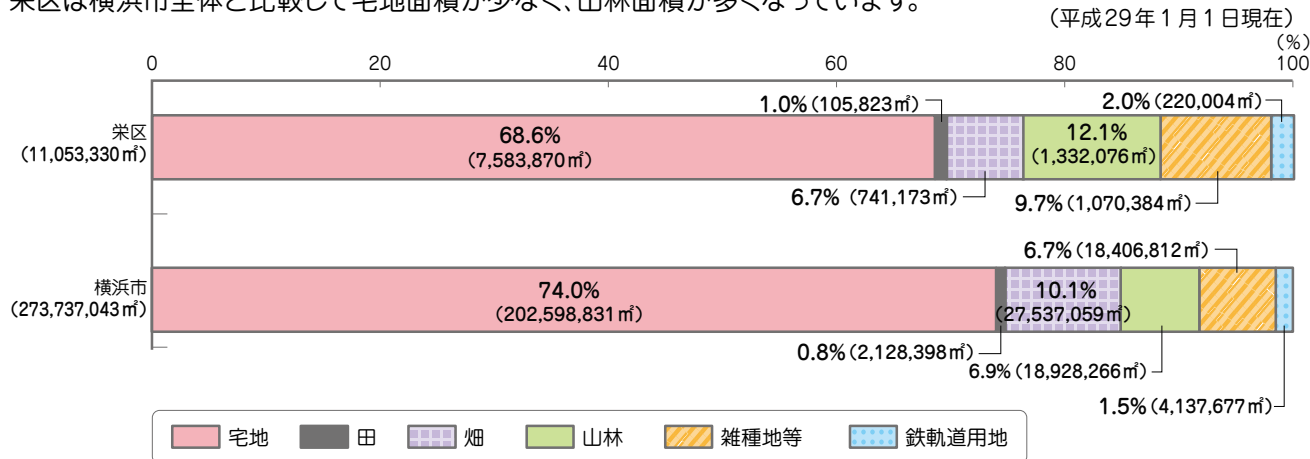


まちづくり >>> 土地利用・住宅

▶ 地目別土地面積

栄区は横浜市全体と比較して宅地面積が少なく、山林面積が多くなっています。



資料：横浜市統計書

▶ 住宅の建て方別住宅数

栄区は横浜市全体と比べると、共同住宅の割合が低く、一戸建ての割合が高くなっています。

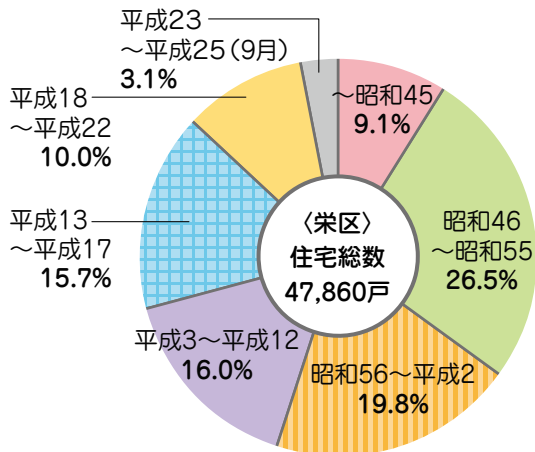
	住宅の建て方					割合 (%)			
	総数	うち一戸建て	うち長屋建	うち共同住宅	うちその他	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
横浜市	1,580,860	579,290	30,300	968,410	2,850	37%	2%	61%	0%
栄区	47,860	22,220	800	24,830	20	46%	2%	52%	0%

※総数は「居住世帯あり」の住宅のみです。

資料：平成25年住宅・土地統計調査

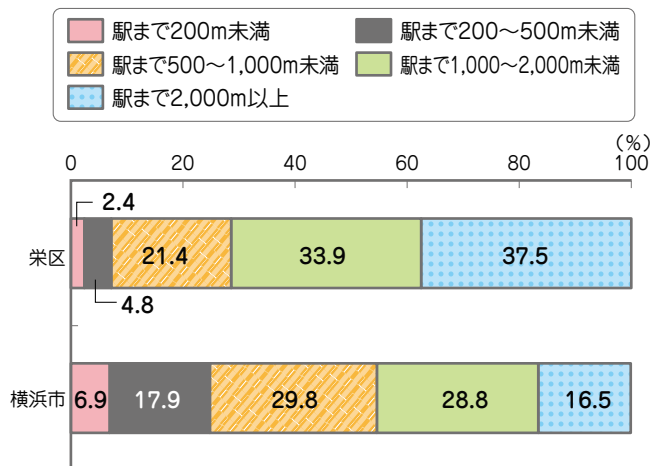
※数値は一の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は、必ずしも一致しません。

▶ 建築の時期別住宅数の割合



資料：平成25年住宅・土地統計調査

▶ 最寄りの交通機関までの距離別住宅数の割合



資料：平成25年住宅・土地統計調査

まちづくり >>> 公園・みどり

▶ 公園数及び面積

(平成29年7月1日現在)

	地区公園		近隣公園		街区公園		都市緑地		その他の公園等		合計		1人当たりの公園面積 m ²
	か所	ha	か所	ha	か所	ha	か所	ha	か所	ha	か所	ha	
栄区	2	13.7	9	8.8	104	20.9	13	16.8	1	9.7	129	69.8	5.75
横浜市	45	204.2	196	326.8	2,303	386.0	54	75.2	77	841.5	2,675	1,833.7	4.91

資料：環境創造局

※地区公園：主として、徒歩圏内に居住する人の利用が目的。(金井公園、本郷ふじやま公園)

※近隣公園：主として、近隣に居住する人の利用が目的。(飯島南公園、いの山東公園、

鍛冶ヶ谷西公園、桂山公園、千秀公園、中野町左近公園、本郷中央公園、笠間中央公園、矢沢なかよし公園)

※街区公園：主として、街区内に居住する人の利用が目的で、最も身近にある公園。

※都市緑地：主として、自然環境の保全等に設けられる緑地。

▶ 市民の森

市民の森は、昭和46年度からスタートした横浜市独自の緑地を保存する制度で、緑を守り育てるとともに、山林所有者の方々のご協力により、市民の憩いの場として利用させていただくものです。(平成29年7月15日現在)

名称	面積 (ha)	所在地	開園年月日
飯島市民の森	5.7	栄区飯島町	昭和47年4月5日
上郷市民の森	4.9	栄区上郷町、尾月	昭和47年4月10日
瀬上市民の森	48.2	栄区上郷町	昭和54年7月7日
荒井沢市民の森	9.6	栄区公田町	平成10年5月24日
鍛冶ヶ谷市民の森	2.9	栄区鍛冶ヶ谷二丁目	平成26年4月1日

資料：環境創造局

※横浜市区面積 / 43,529ha 栄区面積 / 1,855ha 横浜市民の森面積 / 537ha (44か所)

▶ 小川の散歩道

(平成29年7月1日現在)

名称	所在地	延長
飯島せせらぎ緑道	飯島町2468～1460	約600m
上郷町(瀬上沢)小川アメニティ	上郷町851～581	約700m
稲荷川(矢沢堀)小川アメニティ	上郷町2015～2266	約500m
洗井沢小川アメニティ	公田町1051	約600m
洗井沢川せせらぎ緑道	公田町714～530	約700m
公田町せせらぎ緑道	公田町1363	約100m
長倉町小川アメニティ	長倉町11～13	約500m

▶ 栄区の緑被率

緑被率とは緑の総量を把握する方法の一つで、航空写真によって上空から見たときの緑におおわれている土地の割合です。

年度	昭和57年	62年	平成4年	9年	13年	16年	21年	26年
横浜市	40.3	36.0	33.4	32.3	31.2	31.0	29.8	28.8
栄区	47.4	43.3	41.6	40.7	41.7	42.1	41.8	40.6

資料：横浜市統計書